

わかば

ワカバ会

40号

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一 (813)



会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

ワカバ会の重要な目的として、会員相互の親睦を図ることということがあります。

ワカバ会の会員数は遂に二万名を超えましたが、このような多数の会員の親睦を図るためには、会員の皆様に、会員一人一人の情報が適確に伝わる必要があります。

そのために、平成四年に会員名簿を作成し、その後年々その内容を充実して来ております。

また、広報誌「わかば」も会員の皆様の親睦を図る目的で発刊されていることは申すまでもありません。

その記事の中で、会員の皆様の活躍されている様子などを取り上げると共に、会員相互間の意志の疎通を図ろうとするものです。

会員の皆様からの各会員に関する各種情報の提供をお願いするとともに、広報誌「わかば」への多数のご投稿を期待しております。

受け継がれている伝統

東京都立三田高等学校 同窓会

社団法人 ワカバ会

〒108 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

時間

午前10時～午後4時

休日

土曜・日曜・祝祭日

ワカバ会名誉会長 岡本 裕之
三田高校校長

三田高校PTA広報紙が平成六年度の最優秀賞に続き、平成七年度は「会長賞」を受賞した。審査委員長の短評は、「学校の歴史を探る企画はヒット、固い素材を上手に料理し、読ませる工夫をしている」であった。

受賞紙の特集は、「移りゆく教育制度の中で三田高校の歴史を探る」であった。初めに、初代校長丸山丈作先生の教育理念「百パーセントで生きる、はちきれそうな勢いで生きる人間の教育」の具体的な教育目標として、「一、カラダヲツヨクスルコト」で始まる五つの生徒心得が紹介されている。

次の第六高女から三田高へでは、「男女共学第一期生に聞く」、「学校群制度一期生の呟き」、「グループ制度一期生の呟き」を特集し、「そして、三田高は今」の中で、初代校長先生の教育理念が確かに校風に根づいているで結ばれている。本年度、弓道部が関東大会に出場した。この様に、いたる所で生徒の百パーセントはちきれそうな活動が見られることは大変嬉しい。

これも日頃のワカバ会の側面からの支援があればこそと感謝を申し上げる次第である。



三田通りから東京タワーを望む
左は三田警察署跡地に建てられた
三田国際ビル

目次

会長挨拶	1
名誉会長挨拶	1
先生方の近況	2
支部だより	3
震災文集を読んで	3
支部連絡先	3
ひろがれワカバのわ	4
同期会・クラス会・	
OB会だより	6
情報ひろば	8
私の近況	9
総会報告	12
決算・予算	12
委員会報告	12
理事会等報告	13
追悼	13
事務所だより	14

先生方の近況

理科・斎藤 実正

今年、古稀を迎え去る三月に、二十六年間勤めた城西大学を定年退職致しました。以後、時の流れが俄然ゆっくりとしたのに戸惑っています。諸兄諸姉のご活躍を祈ります。

数学・吉本 洋子(橋口)

古来稀な齢になりましたが、平凡かつ平穩な毎日でございます。然し平凡ということが一番ありがたく、また一番むずかしいことかも知れません。

理科・山本 信夫

私学に関係していて、生徒数急減問題に直面し、現役時代は急増期で大変だったことを思い出し、感慨一人です。世は移り人は変わりますが、三田高校の渝らぬご発展を乍蔭祈念しております。

英語・山本 悦子(深野)

旧職員というより古い卒業生として、いつも母校のご発展をおいのりいたしております。三田高校から豊多摩高校に転勤し、退職して大分たちました。第六時代にきたえていただいたおかげで何とか元気にくらしております。

数学・寺尾 光史

日々好日を願いつつ、観音様の門前で元気に生活しています。

国語・瀧本阿彌子

三田高校を退職してから十五年目になりました。現代の多彩な老人生活のなかでは、いたって平凡な暮らしです。昔の同僚の加藤先生ご指導のコーラスに月二回通い、あとは家で楽しみの読み書き。体力がないので旅行はほとんどせず、卒業生の方たちとあっておしゃべりするのが何よりのたのしみな、昔先生の、平和な七十四才のひとりぐらしです。

社会・元木 光雄

長かった三田を出て都立大付属・雪谷を経て定年になり、はやくも十余年がたちました。弱虫の私としては不思議な位元気で、まだ細々ながら働いています。退職後は百余年の歴史を持つ東京女学館で、その百年史の編集をしたり、その史料の展示室開設準備をやってきました。更に半分趣味・半分勉強で、史跡めぐり、歴史散歩も続けています。ことに七回生の人たちは、毎年お互いの交流を兼ねて、一緒に歩いたり、食べたりしています。こんなことが、もうしばらく続くのでしょうか。

社会・田村みどり(櫻井)

三田にお世話になりました頃はまだ学生気分も抜けないような頼りない教師でしたが、気持は今もあんまり変わって居りません。でも現実には五人の孫を持って還暦とやらも昔のことになってしまいました。幸に夫も現役として

働いて居りますので二人暮らしの身軽さ、浦和家裁の調停委員として、浦和市の民生委員として、毎日多忙を楽しんで過ごして居ります。

体育・富沢 良子(望月)

数年前、当時担当いたしました一年七組クラス会(軽井沢山荘への一泊旅行)を計画していただき私も参加させていただきました。何十年ぶりに再会する生徒さんのお顔お顔に本当に感激しました。その後二年毎のクラス会を楽しみにして居ります。

大学を卒業してすぐ三田高校に奉職し、無我夢中で過しました五年間はまさに私の青春の宝物です。あれから四十年の月日が流れ、昨年より主人共々、都市型の中銀ライフアマンションに移り住み最後の人生を楽しんで居ります。週三回水泳(スポーツクラブ)・コーラス(赤い靴アンサンブル)・社交ダンス・ピアノと趣味に明け暮れる毎日です。長男・長女も夫々家庭を持ち、三人の孫に恵まれました。人生の終盤は、主人と二人三脚で、身体をいたわりながら穏やかな日々を送れますことを、この上ない幸せと思っております。

(敬称略・順不同)

※わが第39号「高橋百合子先生を悼む」を寄稿いただきました安倍文子さん(5-17)のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

佐瀬鶴子先生を偲んで

3-6 渡辺 麗子(三田)



「佐瀬鶴子さん」と呼ばれる声に顔を上げると、あの清楚なスツ姿の先生がいらっしゃいました。済生会病院の内科外来で思

いがけずお会いし、近くの私宅で昼食をご一緒いたしました。優しい眼差しで「心臓の具合が悪いのよ。」と静かに話され、少しは弱られたかしらと思いました。居間から三田高の校舎を見ながら、先生が府立第六高女へ入学された時の事、三田高の英語教師になり同窓生の先生が多かった事等懐かしそうに話されたのは、五年前の五月晴の頃でした。五十年前、ツダ・リーダーを流れるようにお読みになった英語の授業こそ、戦後の外国語教育の始まりでした。二月の寒い日、先生とのお別れは寂しく悲しい想いでしたが、祭壇の御遺影は優しく微笑んでおられます。

鶴子先生、どうぞ安らかにお休み下さいませ。

合 掌

支部だより

関西支部より

15ーウ 中井知恵子 (江波戸)

悪夢の様な昨年の大地震の恐ろしさを風化させない為にも、被災された方々の体験を、記録として残す事が、幹事としての役目ではないかと思ひ、文集を作ることに致しました。復旧に大変お忙しい中、又お疲れから体調を崩された方も貴重な体験談として教訓等、十九名の方が寄稿してくださいまして「阪神・淡路大震災体験文集」として三月中旬に発行、関西ワカバ会会員の皆様と本部にお送り致しました。

四月十二日に、会場を被災された方々に少しでも近い所を選び、激震地芦屋駅前、復旧工事が終えたばかりの竹園ホテルで「春の集い」を致しました。未だに仮住いの方、家の補修、再建が何とか終了された方も出席して下さり、三十五名が集いました。当日は会員の友人の方のファゴット演奏。高女・高校の校歌。なつかしい歌のコーラス。そして私も弟子を連れての箏の演奏。和洋の音楽鑑賞で楽しい一日を過ごし、皆様に大変喜んで頂けました。

残念乍ら、被災後体調を悪くされたり、復旧の為未だ出席出来ぬ状態の方も沢山居られます様ですが、次回は十

一月八日・九日。紅葉の名所有馬温泉にてゆっくり楽しんで頂けたらと、一泊のお集りを既に準備中でございます。



『阪神・淡路大震災体験文集』を読んで

8ー15 村井 将子 (市川)

あの寒中の早晩に、村田さん(2C)は既に朝食を済ませられ関東大震災時の教訓を思い起こされ築八十三年のお宅の大黒柱にしがみついて助かっている。野依さん(5A)は壊れた大屋根にビニールシートを覆ってくれた通りすがりの男性に、また長蛇の列を見かねて駅まで送ってくれた軽トラックの人に人の「性善説」を信じてと記す。同期の西村さん(5E)は戦後中国よりの引揚げに続く災難ながら無事を感じている。常に枕元に懐中電灯とハンドバックを忘れない井高さん(7イ)でさえ今も身震いする大惨事であった。村上さん(11ウ)など二日ぶりで救出されている。文章の端々より伺える先輩方の身の処し方に敬意を覚える。これぞ第六精神か。比較的若いとは申せ沼田さん(11ー5)など闇の中で歌を口遊んでいる。しかも扉の開いた洋ダンスの中にすっぽり入ってケガひとつ無い幸運さだ。田中さん(19ア)のお孫さんの佑実さん(中三)は五千人を越す犠牲者の出た中で「私たちは生きている。生かしていただいている。今、何をなすべきか」と自問している。茶髪世代に明るい未来を感じたのも今回の大震災後の若者たちの活躍であった。全てのことがらが良い方へ向かいますよう心より願っております。

(文集をお読みになりたい方はワカバ会事務所にお問合わせ下さい)

支部連絡先

札幌	5エ	白居 和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋 辰代	〒981-04	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
浦和	18修オ	中村 泰子	〒336	浦和市前地 3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261	千葉県美浜区磯辺 6-6-10-304	043-277-3469
湘南	14イ	杉本 万与	〒247	鎌倉市岡本1022-10 ラシェール鎌倉205	0467-44-8616
静岡	18修イ	田中 和子	〒420	静岡市五番町20	054-252-8831
名古屋	22イ	野々山敬子	〒458	名古屋市緑区鳴子町 3-96-9	052-895-4366
関西	15ウ	中井知恵子	〒550	大阪市西区北堀江 4-2-40-413	06-538-2135
京都	1D	米田 道子	〒615	京都市右京区西院東淳和院町33	075-311-2480
福岡	2E	富田やす子	〒813	福岡市東区香椎団地 27-21	092-661-3616
大分	4-4	工藤 延子	〒870-02	大分市南春日町 10-9 山下方	0975-43-3100

ひろがれ ワカバのわ

小浜神宮寺お水送りと 東大寺お水取り

18-4 修イ 田中 和子(辻)

若狭小浜の神宮寺は、夜の神事を控えてざわめいていた。境内の奥の御香水の屋で、有史以来涸れたことのないお水をひと口頂いた。一旦宿舎の小浜ロッジに入り、夕食を済ませて再び神宮寺へ。

寒さが足許からしのび寄る。カメラのフラッシュが、一瞬ダイヤモンドの粉のように雨の粒を光らせて消える。ほどなく本堂から法螺の音を先頭に、修験行者、白い衣冠の神官達が出て来て、広場でお水送りの神事が行われる。インド渡来の「だったんの神火」でお水を浄めるといふ。クライマックスは大護摩に火を移してから、天を焦がす火、舞い上がる火の粉、やがてそれもおさまる頃、大松明に火が移され、ここから鶴ノ瀬まで一・五料の道を歩くのだ。私達も小さなお松明を掲げて列に加わった。

鶴ノ瀬では再び大護摩が焚かれ、一般参加者の松明も投じられる。とび散る火の粉が諸々の厄難を除くというが、



私には空襲や阪神大震災を連想して恐ろしかった。神事は竹筒の御香水を水にあげ、送水文を流すことで終わる。音もなく渦まぐ川に、白い紙がはらりと落ち、流れ、やがて視界から消えて、我に返った。

翌日は琵琶湖東岸を南下、三千院を経て奈良東大寺へ。お水送りとお水取りという一連の行事を拝見させて頂き、まことに有難く楽しい旅行であった。

(平成八年三月実施)

一日見学会

おりがみ会館と不忍池探鳥

6-1 免出 康子(木藤)

よく晴れた初冬の日、参加者十六名は集合場所の御茶の水駅から聖橋を渡りおりがみ会館へ。下を流れる神田川堤の樹々が色づいて普段電車の中から見える景色とはまた違った趣がある。会館では講師の先生の文字通り手慣れた実演と説明で紙漉きを体験、折紙で

千支の「子」を折る。童心に返って、お隣りとこれでもいいのかしらなどと云い乍ら可愛いネズミが出来上がった。

予定時間をオーバーしてこの日の楽しみの一つイタリアンレストランで昼食。そして不忍池に向かう。何度となく訪れた上野も蔵前橋通りからのコースで街の顔がすっかり違って見えることに新鮮な驚きを覚えた。池では元気に泳ぎ廻る水鳥達を佐々木昭様(57)の説明で皆小学生の遠足のように熱心に観察。好天ながら風の冷たい一日で上野の山の銀杏の樹の下は黄色い絨毯を敷いた様。高い梢に夕日が洩れて大変印象的な夕景だった。

(平成七年十一月実施)

コーラスのつどいに参加して

10-4 田中 和子(戸辺)

急に誘われて初めてワカバ山荘に出かけた。三々五々到着した参加者は汗を流した後食堂で会食。講師の加藤恭二子先生はじめ皆が自己紹介。卓上一



ばいに並んだ手の込んだお料理の数々にも大感激。夕食後旧館ロビーに集合しレッスンを開始。声を出すための体の使い方、息のしかたを講義していただき歌ってみる。しばらくは息がでない感じがぬぐえないものの高音が自然に出ていたように思う。「小さな木の実・潮騒のメロディー」など数曲をパート練習のあと合唱。きれいに歌えたのに満足する。先生に「さくら貝・友よ」をおねだりし歌っていた。私より年長の先生の美しい声に感動。今まで何気なく歌っていた歌に違った歌い方のあることを知りこうやって楽しみの巾が広がるのがわかったつどい参加であった。翌朝同窓生で第六・三田の校歌を歌い久しぶりに高校時代を思い出した。

(平成八年七月実施)



812 山本晶子(小口)

コンペ当日は朝からあいにくの小雨模様で、しかも霧が立ちこめていて、初心者の方としてはそれだけでもかなりのプレッシャーだった。パートナ―は同期の中垣さん、山志田さん、吉野さん。スタート前のドキドキを押さえながらも和やかに話がはずむ。

いよいよスタート。構えてはみたものの前方は霧のため真白。池もパンカーも見えず不安だったが、却って「飛ばそう」という思いが消えて、素直に無心に打てたのだと思います。

(平成八年八月実施)

麻雀の集い

14 | 才 兵頭 英子 (岩田)

ワバ会報を開きマージャンの集いがあるのを知り早速申込みました。月経での開催の通知を頂き一夕を集めた皆様方と明るい会場で楽しんだ事です。存じ上げている方もいたし、何より同じ学校卒の、気心知れた中年の女性、老年の我々も年の差等感じず楽しんだ事です。

マージャンはつき、下手でもつけば勝てるし、反対に上手でもつかねばどうにもならないゲームだと思います。

当日私はつきに恵まれ優勝させて頂いたので、総てのめんどろを見て下さった幹事の中村様より何か一筆との依頼を受けたわけです。

私は母がマージャンが好きで何時の間にかおぼえ、従兄や姉妹達と家庭マージャンを昔は楽しんでおりましたが、それぞれ結婚子育て等で久しく遠ざかって居りましたが、いつの間にか姉妹で母をかこみ楽しむ様になりました。高齢で昇天した母亡きあと集まりもとどろえ、懐かしいマージャンを求め、近くのサンケイのマージャン教室に通いました。先生のマージャン会への紹介、其處で知り合った方のまねき等でマージャンの輪は広がり現在に至って居ります。老後の暇つぶし、ボケ防止、楽

しき友との接触等にマージャンは最適と存じます。今からでも始めたい方、手ほどき喜んで致します。共にマージャンを楽しみましょう。

(平成八年一月実施)

小江戸・川越をたずねる

今、歴史と自然をたずねる日帰りの旅は9月28日(土)に川越に行くことになりました。川越は小江戸と呼ばれるだけあって街中に江戸文化が色濃く残っています。喜多院には將軍の居間がそのまま移築されています。葵の紋入りのうるし塗りの調度品に囲まれて、鈍く怪しい輝きの中にその時代の意図の深さを感じるのも楽しみの一つです。

今回から講師をお願いした元木光雄

先生（元三田高校教諭）は都の史跡めぐりの講師も長年なさっておられ、経験豊かでいらっしやいます。長々とした説明よりも参加した人が自分の目で見て個々の感性で歴史を感じることが大切、とのお考えなので、今後もしっかりと楽しく勉強になる旅になることでしよう。一人で気軽に参加できるのがよいところです。次の機会には是非どうぞご参加下さい。

（日程の關係で会報の印刷までに紀行文を入れることができませんでした。ご了承ください。）

(平成八年九月実施)

一 会員番号のしくみ

会報郵送の際の宛名の右下の数字

例 (1 2 3 - 4 5 6)



上記の例は第六高女23回卒 4 組56番を表しています。
ワカバ会にお問い合わせの節は是非この番号を御利
用下さい。

① アンコール おりがみ (募集中)

期日：11月25日（月） 定員：20名

参加費：6,000円（昼食・その他）詳細ワカバ会

講師：中村實氏（はまぎん産業文化振興財団理事）

期日：平成9年3月29日（土） 定員：30名

参加費：2,500円（現地バス・船・保険料他）

申込切日：平成9年3月3日（月）昼食代自弁

(前号で横浜史跡めぐりの日時が間違っていました。
訂正し重ねてお知らせいたします。)

同期会・クラス会・OB会だより

卒業五十周年旅行

17ーウ 高林てる子(小原)

私達は昭和19年3月卒業し、五十周年の記念行事として、平成6年11月のクラス会は2泊3日で瀬戸内海に旅行をした。

2年生の日光を最後に戦争中のため修学旅行をやむなく廃止させられてしまった私達は、古稀を迎えようとするこの年になって胸躍らせながら総勢18名、広島駅に集合した。幸い幹事の一人が長年呉市に在住しているので旅行会社の添乗員と駅に出迎えてくれた。

早速チャーターのバスで原爆ドーム、資料館を見学した。戦争体験者である私達も見事に耐えない悲惨な写真の前に立ち、二度と繰返されることのない様新たな決意をした。

夕暮の宮島に一泊。翌日日本三景の厳島神社に参拝し、紅葉の美しい弥山から夢にまで見た瀬戸内海を一望した。いよいよ観光船に乗り、故水上先生が昔の第六の豪華な修学旅行のお話をし下さった授業を偲びつつ、江田島、呉の港を横に見て、大小様々な島を縫って四国の松山に着いた。バスで松山市の子規記念館を訪れた後松山城の天守閣にのぼる。市街を見渡しながらく



も遠くまで来たものとおセンチになってしまった。道後温泉で二泊目を迎えたが、昨日に引続き大ご馳走で豪華な宴会ができて幸せいっぱいな夜だった。

翌朝は開通初日の四国松山自動車道を旅行会社のバスで丸亀ー坂出と走り、本州との連絡地点である瀬戸大橋に到着した。そこで観光船に乗り移って海上から瀬戸大橋の全形を眺めた。二つの島の上に橋桁をのせ、近代工学の粋

をつくり、美しく頼もしい構造の建造物。原爆で終わった戦後日本の頭と力が集約された感じだった。

岡山で一同解散し、新幹線で帰路についたが、50年目のクラス会には友達との懐かしい、楽しい旅行だった。そして日本の科学と交通網のめざましい発達に驚いた二泊三日の忘れ得ぬ旅だった。

ブレ還暦の会

7-12 中村左都子(本多)

高校七回生といえば、卒業以来四十年の星霜を経た訳で、標準年齢では五十九歳を数える。そこで本年一月二十七日に「ブレ還暦の会」を催したところ、百十九名の出席をみた。ここ数年、各クラスの幹事が毎年一回集まり同期会の開催の準備を重ねており、その成果だろう。

この幹事会を別名「七夕会」とよび、同期生や恩師の動静を情報交換し、五年ごとの同期会の円滑な運営のために、それぞれの持ち分野で心をくだいていく。

本年の会合は五年ぶりであり、また還暦という人生の大きな節目の一つを一年後に控えていることもあって、開会からおひらきまで賑やかそのものであった。

高齢社会など他人事、と思っていた人々にとっても現実は厳しく、単に過去を振り返るおしゃべり会に終らせず多

くの勤め人がフリーとなる一九九九年の開催を約束してお互いの健康を祈った。

9年ぶりの同期会

19-4 相川 統樹

昭和42年に卒業してようやく第3回目(?)の同期会が6月23日品川プリンスホテルで開催されました。前回は30代の終り頃で次回は5年後にとの話が、40代の終り9年後となりましたが、病の中へ出席頂いた関先生を初め、金高・新・龍本の各先生以下110名位の盛会となりました。

今回もまた三田高校に戻った戸田雅子さん(宮崎)の大活躍のもと無事終了しました。小生はBGM作りで、オルディーズ、GS等懐かしい曲を流しましたが、おしゃべりに夢の中、気付いてくれた人はいたでしょうか。

何か少しでも変わった趣向で同期会を企画してくれる人がいたらいいなと思っています。当日来られなかった人に会いたいと思っている人もたくさんいました。また近々お互いに会いたいと興奮しながら終わった一日でした。

高21回同期会だより

21-6 クラス幹事

平成8年7月13日、新宿三井クラブにて同期会を開催しました。遠方からかけつけて下さった方や、なかには卒業以来という再会もあり、はじめのうち

は興奮冷めやらず司会の方の声も聞きとれぬほどの盛り上がりでした。全く忘れていたのに会った途端名前が浮かんだり、一気にタイムスリップして楽しいひとときでした。



宴もたけなわになり、各クラス一人ずつ近況報告をし互いの人生の健闘をたたえました。同期生のお一人のリードで、皆で「校歌」を歌いました。幹事達もそれぞれ仕事、旅行中などで忙しく、準備に至らない点もありましたが、百余名の多くの出席者の歓談ぶりに、うれしく思うと共に、あいにく当日欠席なさったかたも含め皆様のご健勝を心からお祈りします。

高33同期会だより

33-8 中村 和彦

四月十四日、私達33回の同期会を全日空ホテルで行いました。当日は百二十名以上の同級生と十名の先生方が懐かしい顔をそろえ、少し華やいだ雰囲気になりました。卒業以来十五年が経ちましたが、初の参加の方も多く「あれ、誰だっけ?」という声も聞かえていたようです。それでも宴たけなわとなるとあちこちで談笑の輪ができました(それでも僕は最後までわからない人がいました。ごめんなさい)。結局、四次会までがんばってお開きになったのですが、今後の連絡の便宜のためにインターネット上にメーリングリストを作成しました。電子メールを使える方でしたら nita@es.lqs.ntt.jp に発信していただくと同期の方々に



デジタルカメラで撮影

に自動的に転送されます。登録の受付は nita-request@es.lqs.ntt.jp にその旨メールを出して下さい。ではまた、お会いできる日まで!

還暦バスケット続報

7-4 石井 正紀

「わかば」に三籠会の還暦バスケットの試合のことを書いてから一年経った。今年も予定どおり決行した。いま人気のNBAにあやかってダンクシュートをとっても、体の方は無情なもの。本人はジャンプしたつもりでも、シューズは床からほとんど離れていないのだ。それに、昨年は前半で5分もった体力が、今年は3分がやっと。これには、参加者一同、愕然とした。見かねた川並先輩(聖徳大体育学教授)が、「この試合も今年かぎりにしようか」と持ち掛けてくれたのに、歳をとると頑固になるのは人の常、誰もやめようと言いださない。結局、来年も決行と相なってしまった。筆者としては、責任を持ってない心境だ。

最後に、「わかば」効果か、記事を読んでくれた一人の後輩が応援にかけつけてくれ、来年は合同で試合をしようということになった。乞うご期待である。

手描き絵はがき

6-2 廣瀬 哲也

三田高校箏球部超O・B会が縁で、



このたび軽井沢の山荘にパステル着彩はがきの委託販売をお願いしました。このはがきは、共同作業所「ばんぶきん」という分裂病・そううつ病・神経症などの心の病を抱える回復期にある人達の通所社会復帰施設で製作されたものです。この作業所の特徴は、シュタイナーの芸術療法を応用した作業内容を行っていることです。作業はときには療法も兼ねており、パステル着彩はがきのほかに水彩画・陶芸・彫金・七宝焼などを行っております。作品はバザーなどで販売して通所者の賃金になります。一枚一個が手作りで色合いが美しいものです。私も退職後、毎日のようにこの作業所に通い製品づくりのお手伝いをして時間を有効に過ごさせていただいております。機会がありましたら、皆様もどうぞ製品をご利用下さい。

情報ひろば

- ①活動または催物の名称・案内等
②会期・場所
③発信人・問い合わせ先

加藤道理先生(旧教頭)

平成8年春 勲4等旭日小綬章を叙勲されました。
心からお祝い申し上げます。

加藤恭二子先生(旧職員)

- ①第24回リサイタルCD 定価 3,500円
②申込 現金書留 〆切 11月末(12月郵送予定)
③宛先 港区三田1-4-46 三田高校内 戸田雅子

加藤恭二子先生(旧職員)

- ①第25回加藤恭二子ソプラノリサイタル
②平成8年11月18日(月) 19時開演
入場料 4,000円 於 こまばエミナース
③問合せ先 ワカバ会

余 充政(本名 脇 哲郎)(25-4)

- ①『日本語の最初の二文字それが愛』

三田在学中は水泳部の選手で冬休み、春休みには
友とスキーにも行きました。筑波大・人文に入学。
卒論が書けなくて中退。この詩集が卒論のかわり
です。

- ③発行元 近代文芸社

〒122 文京区目白台2-13-2 ☎3942-0869
1,200円 書店にて御注文下さい。

- ①歌集『秘書の歌』 島田伊都子著 短歌新聞社

外資系企業の日本市場における活動が飛躍的に
発展した1960年代後半から四半世紀に亘って、外
人重役秘書として勤務し、その間の秘書生活の哀
歓を三十一文字に託して綴った歌集。

三田高校在学中に山本悦子先生はじめ良き先生
方のご指導を得たお蔭で、好きだった英語を生か
して外国の方々と共に働き、交流する機会に恵ま
れ幸せな秘書人生を送ることが出来た。三田は私
にとって終生なつかしい心のふるさとである。

- ③〒166 杉並区高円寺南4-43-9 ☎3312-9185

山内伊都子(島田)(7-6)

鳥居恭子(梅田)(8-5)

- ①滋賀県水口町「東海道五十三次シンポジウム」
記念講演「東海道と沿道に暮らす人々」
②日時:平成8年11月16日(土)13:30
場所:県立水口文化芸術会館
③☎03-3635-2274 鳥居恭子

- ①特別講演会「縄文—その自然と文化」

「狩猟・採集民族と自然」 C・Wニコル(作家)
「遺跡からわかる過去の環境」加藤晋平

(国学院大学教授)

「日本の原風景」沼田 眞(千葉中央博物館長)

- ②日時:平成8年11月24日(日)12:00~17:00
場所:千葉市民会館ホール(千葉市要町1)
応募方法:往復ハガキに「特別講演会」希望と明
記 住所、氏名、性別、年齢、職業、ワカバ会員
と記入の上、下記に10月末日までに申し込んで下
さい。900名(応募多数の場合抽選)
〒264 千葉市若葉区桜木町163 千葉市立加曽利
博物館特別講演会担当宛(☎043-231-0129)

- ①平成8年縄文フェスティバル

土器作り、土笛作り、玉作り、アングイン編み、石
器づくり、草木染め、古代食体験、海水から土器
塩づくり、縄文ウルトラクイズ

- ②日時:平成8年11月10日(日) 午後1:00~3:30
(雨天17日(日)に順延)

場所:加曽利貝塚博物館、南貝塚復原集落広場

- ③☎043-432-7151 (E-mail suno@po.netq.or.jp)
宇野修平(8-2)まで

- ①29回同期会の幹事を募集中です

- ②平成9年春(卒業20周年記念として)

- ③平山会計事務所 ☎048-442-5590 FAX048-442-6590
平山孔嗣(29-2)

- ①インターネット上で稼働するメールリストを
作成しました。メールリストに発信していた
だけと、同期の方々に自動的に転送されます。
アドレスは mita@es.hqs.ntt.jp です。

また、メールリストに登録を希望なさる方
は mita-request@es.hqs.ntt.jp にて受け付けて
います。

- ③中村和彦(33-8) ☎045-903-6073

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報
をお寄せください。

私の近況

ペンの走るままに

7ーウ 岩城 佳子(野波)



私が第六を出ましてから六十幾年になります。その間、娘、孫もとうに三田高校を卒業してしまいました。三代に亘ってワカバ会のお世話になりました。たのも偏に私が自信を持って第六の良校風を子供達に伝えたからと思っております。私は卒業して二年目にクラスでも二番目と云う程早く結婚してしまい専業主婦を六十年。昨年三月主人を亡くし、さあこれからは自分のしたい事を思う存分にやってみたいと思っております。どうしてかなかなかその様な気にもなれず、近頃は少しばかり洋らんやセントポーリアの育成を楽しんで居ります。私共のクラス会(七ウ会)には毎年二十人近く集まる様で私もここ二・三年は主人の病気で出席出来ませんでしたが、この秋は私共が幹事です。丁度八十歳の年にも当たりますので何時もより少し盛大にと思っております。

うとしています。複雑な原因を抱え犯罪に走ってしまった子や、被害に遭い心身共に傷ついてしまった子等とのいろいろな形での出会いの中、高校時代を振り返る事はしばしばです。当時の友人達との付き合いが今の私の宝物であり、そういう事が困難を乗り越える時のエネルギー源となっています。法の遵守の為に人はいくら努力がでるのでも、この事をなんとか伝え、そしてその子にとっての宝物と一緒に探していく、これが私の仕事です。今



宝さがし

37ー4 三輪ひろ美(阿比留)



後も子供達と共に成長をしながら、とびきりの笑顔という至福のボーナス付きのこの仕事を続けていきたいと思っています。

14ア 健在なり

14ーア 門川美代子

卒業してなんと55年。それぞれの人生、境遇は違うが、会うと学生時代に戻る。

「口の悪いのは、頭と器量の良さで補ってきたけど、最近、その二つが一番悪くなったわ」「和食はいいけど和室はダメ。膝が悪いから」「埼玉にやっ」と小さな土地を確保したの。近いうちに移るわ。」「新築するの、おめでとう、息子さん一家も一緒?」「お墓よ」「墓なら墓と最初からいってよ。まぎらわしい!」「OLが向こうからドーンとぶつかってきて、ゴメンもスマナイもあらばこそ、人の顔見て『クソババア!』だって。おだやかな私も頭にカーッとときどなり返してやったわ。」「クソだけ余計でしょッ!」って」

結束の固さは、担任の小此木先生に比べるとところが大きい。60年前と同じ小柄でハッキリした口調、変わったのはオシャレになったこと。先生の前で私たちは小さくなる。先生に引きずられて14アは健在。小此木先生は、昭和天皇と同じお誕生日。めでたい。

学業と仕事を両立させて

14ー3 牧野 紀子

高校に進学できる人と就職する人が半々だった時代でしたので、昼、学び、夜、働く(自宅で珠算を教える)という変則的な三年間の高校生活を送って、しかも大学(中央大学)に進学できる学力もついた……三田高校での授業がいかに密度の濃いものだったか、今になってしみじみ感謝しています。

十五歳から始めた珠算塾も、五名の生徒から、一年目で四十名、二年目で八十名、高校卒業時には百二十名と増え、一家を支える力になり、三十七年後の現在も、三百名以上の小、中学生に、暗算力を伸ばす珠算塾として東京の隅っこで(教え子が次々と助手を務めてくれるので)教え続けています。今も三泊四日の合宿から帰ったところ



珠算は伝統の計算道具ですが珠算式の暗算を上達させることは日本の伝統的な庶民文化の継承にもなると考えています。体力。気力。知力が残っている間は教え続けるつもりです。

曾孫にかこまれて

4-エ 大場 茂子(大場)

卒業して六十五年、長崎県の大村に住みつき五十年、大村弁も上手になり、曾孫たちにかこまれ平穩に暮らしております。

終戦の年に夫が亡くなり娘と二人大村に来て大村郵便局の窓口に二十五年すわり、現在は結婚した娘の家族と一緒に暮らしております。

同窓会、クラス会にはあまり出席できませんが、東京へ行った時クラスの方達が集まってくださったり又電話で近況を知らせてくださるのでたのしみしております。当地では月一回短歌の好きな人達が集まっております。結社は青垣に所属して三十年余りになります。

菓子ねだる曾孫に

きこえぬふりすれば

泣いてもいいかと首をかしぐる

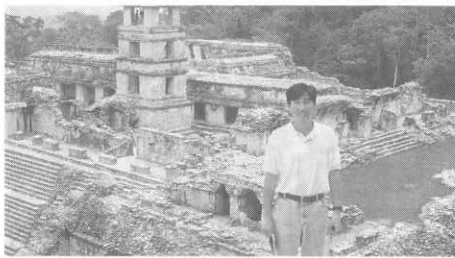
お笑いください。



リゾートと遺跡とスモッグと

27-2 東 高之

海外勤務を夢見て商社に入りました。35歳にして漸くメキシコに派遣されることになりました。最初は語学やこの国の習慣を勉強するのに精一杯でしたが、すぐに、危険きわまりないこの国が好きになりました。それは無数のマヤ・アステカ等の遺跡群とカンクン・アカプルコを代表するリゾート群が私を魅了したからです。紺碧の空と海を眺めながら真白い砂に横たわり、時おり暦や天文学の天才であった古代人の遺跡を見る、こんな休暇を楽しみにして働いていた場所は、世界一の人口を有し地球上最も大気汚染がひどいと言われている都市、メキシコシティでした。「光化学スモッグ」という言葉を聞いた時は、本当に高校時代に戻ったような気になりました。特異な歴史を感じさせる自然とそれを破壊する近代化・工業化。メキシコは日本が通った道を爆進中です。



若い学生に混じって勉強するのは大変楽しいのですが、英語の分厚い本を読み、良い論文を書くのはなかなか大変です。英国勢の三倍は時間を掛ける必要があると思います。いろいろな事が起き、それ程勉強に没頭しているわけにもいきません。



英国には大聖堂が30もあり、現在まで9つ訪れました。こちらにいる間に全部見たいと思っておりますが、後二年の間に卒業したいので、どうなりますか、楽しみです。

再び学生に戻って

4-5 名取てる子



外国の絵画彫刻の展覧会が度々開かれるようになり、画廊が増えていったのも戦後十年ぐらいたったかと思いますが、展覧会や画廊にはよく一人で出かけました。何とか美術を学びたいと思うようになり、年金を戴けるようになるとすぐ英国のどこに住みたいか簡単に調べ、明るい感じのしたケンブリッジに一九九四年四月に、参りました。

大学院も含め、進学率が向上している昨今、おおよその将来計画を決める時期が、高校時代から大学時代へと移ってきているのかもしれない。

「今時の若い者は、…」という言い方は、時代を越えた普遍的な台詞であるとかで読みましたが、言う内容が妥当かどうかはさておき、年を取ってくると言いたくなるのは真実のようです。



私事ですが昨年長男に恵まれました。彼が大きくなる頃の若い者は、どう言われているのか、その頃になれば、もう無責任に楽しみにできそうです。

最近の学生は

24-6 高橋 泰行

大学を出てから、数年間勤めた企業を退職し、教員として再び大学へ舞い戻ってから九年が経ちました。

私が学生時代には、「最近の学生は、少しも勉強しない」と叱られたものですが、今の学生は「何を勉強するべきなのかを知らない」と叱られています。

古希を迎えて

17-1 井口千恵子 (阿部)

女学校三年の時太平洋戦争が始まり、三年半後に敗戦、混乱の戦後から今日まで荒浪にもまれめぐるしく変わる時代を生きて参りましたが、第六の時代に培われたいつも明るく前向きにという気持を忘れずに、あえぎ乍らも元気で古希を迎えることができ感謝の気持で一杯です。



十年前から週に一度小さな日本語教室でボランティアをしていま

私でしたから、生徒さんが先週勉強した所を殆ど忘れて了っても少しも腹も立たず、ゆっくりのんびり外国の方との出会いを楽しんでおります。これからの体に気を付けて歩ける限り続けたいと願っております。

芸術と出会って

44-18 甲斐 順也



懐かしい母校を卒業して五年目になります。「超氷河期」といわれた就職戦線を無事乗り越え、今春より、システムエンジニアとして働いております。高校卒業と同時に三田高校のOBオーケストラに参加し、現在もヴィオラを演奏しております。「芸術は、文化の華。その美しさは、何の注釈もなしに、人々の心を開き、近づけあう。芸術は、人間の光。生命の輝きこそが、創造の源泉となる。芸術は、時代の鑑。偉大な芸術が興るところ、文明の興隆がもたらされる。」そんな素晴らしい芸術を、多くの先輩・後輩の方々と、そして、かつて共に学んだ友と共有できることに、衷心より感謝。感謝。

再会の日を楽しみに

34-18 津曲 隆志

日本セメントへ入社し東京で勤務していた頃、会社の廊下で突然声をかけられたことがあります。相手は高三の時の同級生で、商社に勤めており、時々私の会社へ来ているとのことでした。世間は狭いものだと思つづく感じた

のです。

約三年前初めての転勤で淡路島の採掘場勤務となりました。ここはセメントの副原料や埋立土砂などを採掘しており、関西空港の埋立土砂の約一割を供給しました。今、関空二期工事へ向けて色々と案を練っているところですが、国家的大プロジェクトに参加できる貴重なチャンスですので、この機会を生かせるように励んでいくつもりです。



転勤して残念だったのは、三田高卒業以後年に一回は集まっていた仲の良い旅行委員会のメンバーに会えなくなつたことです。再び彼らに会える日を楽しみにガンバッテいきたいと思ひます。

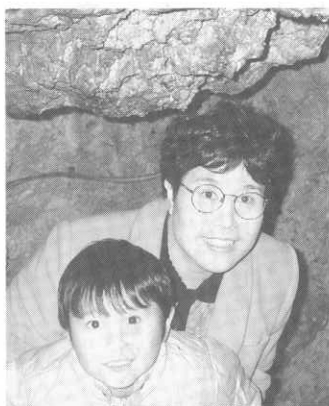
医療ソーシャルワーカー

こ存じですか

24-2 佐原まち子 (寛)

私は、大学で社会福祉学を専攻し、現在都内の総合病院で医療ソーシャルワーカーとして仕事を続けています。ソーシャルワーカーという仕事は病

気を通して発生した生活障害(在宅介護・障害を持ちながらの今後の生活・精神障害・アルコール問題等々)を患者・家族と面接し社会資源等を活用し、解決できるよう援助する専門職です。核家族が増え、一人暮らしやお年寄りだけの世帯が増えていきます。高度医療が進む中、かつての病気の回復とはほど遠い状態で社会生活に戻らざるをえないのが現実です。病気に直面して初めて皆さん戸惑うのです。医療に關わる心配がありましたら、一人で悩まず病院のソーシャルワーカーに是非相談してみてください。きっとお役にたてるはずですよ。



今回は卒業回数末尾4と7の方にお便りを頂きました。原稿等お寄せいただいた方、ありがとうございました。次回は末尾1と8の方の原稿を掲載する予定ですので、奮ってご寄稿下さい。

総会報告

第五十九回ワカバ会総会は、平成八年五月十九日(日)午後一時より、母校音楽講堂に於いて開催された。定数の百名に対して一〇八名の会員、十二名の客員の出席を得て、平山理事の司会のもと小野会長を議長に選出して次の議案が承認可決された。

- 一、平成七年度事業報告・決算
- 一、平成七年度監査報告
- 一、平成八年度事業計画・予算案

予算案説明では会長挨拶にもあった二年後に迎える七十周年記念行事の準備のための予算が組まれている旨説明がつけ加えられた。次いで午後二時より懇親会にうつり、なごやかに歓談。恒例の福引大会では好評だった各種カード類が本年度も沢山の方々に当り、その度に大きな歓声が上がり会を一層盛り上げて三時三十分には散会となった。



平成7年度決算・平成8年度予算

科 目	平成7年度 決算額	平成8年度 予算額
I. 収入の部		
① 基本財産運用収入	2,142,807	2,120,000
② 会費・入会金収入	10,251,000	9,195,000
③ 事業収入	5,397,719	5,620,000
④ その他収入	9,494,762	7,250,000
当期収入合計 (A)	27,286,288	24,185,000
前期繰越収支差額	62,065,073	64,849,958
収入合計 (B)	89,351,361	89,034,958

科 目	平成7年度 決算額	平成8年度 予算額
II. 支出の部		
① 事業費	13,802,711	14,630,000
② 管理費	10,194,225	8,750,000
③ その他支出	504,467	360,000
当期支出合計 (C)	24,501,403	23,740,000
当期収支差額 (A)-(C)	2,784,885	445,000
次期繰越収支差額 (B)-(C)	64,849,958	65,294,958

総務委員会

平成八年三月、長年事務局で働いて下さった齋藤節子氏が定年退職され、新事務局長に宇野修平氏(8-2)を迎え、事務局も新しい体制で出発しました。現在事務局長他六名が交替で事務にあたっています。パソコンの活用も進み、ファックスも24時間受信可能となっており、会員の要望に応えられるようになって来ました。

監査を長年にわたってつとめて下さった高橋静氏にかわり寺西千鶴子氏(17-5)が就任下さいました。

委員長

竹内 和世(5-4)
高橋 登志(1-1E)
鈴木美智子(9-13)
平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

今年度最初の企画「早池峯神楽と遠野」は、講師笠原最季雄氏の御病気の為、誠に残念ですが中止いたしました。新年度から瀧本阿彌子氏に代って戸田雅子氏が企画委員になりました。この新しい力を得て、来年度は更に楽しい企画をたて同窓生の親睦、交流に役立てたいと望んで居ります。今年中に委員会を開き立案検討して来年春の

委員会報告

「わかば」に掲載しますので楽しみにお待ち下さい。

委員長

佐々木 昭(5-1A)
中村左都子(7-2)
戸田 雅子(19-1)

事業運営委員会

平成七年度軽井沢山荘及び鶴の木駐車場運営について報告します。

山荘の利用者数は八〇一名。昨年度より七五名増加となりました。本年は大きな整備も終わりました。来秋には新幹線も開通します。更に利用者が増えることを期待しております。

駐車場は順調に運営されており、八月三十日現在、二五台が契約中で二台分未契約です。

委員長

山口謙一郎(8-1)
杉本貴久子(16-1C)
竹内 和世(5-4)
中垣 俊二(8-2)

会計委員会

このところ、収入部門の大きな柱である基本財産運用収入の低金利による低下及び山荘事業収入の伸び悩み等によりワカバ会の財政は厳しいものがありますが、維持会費、入会金収入と駐

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

所属	逝去年月	所属	逝去年月
小原 千代 (三澤)	1-B H 8. 3	大澤 敏子 (中西)	12-オ S 63. 10
岡崎 寿満 (鈴木)	1-C 8. 5	岡部 トキ (有田)	13-オ H 8. 4
中里 たけよ (加賀美)	2-A 7. 11	江本 暁子 (加藤)	14-エ 6. 7
宮本 久 (林)	2-B 7. 10	有馬 智恵子 (野間)	14-エ 4. 9
福田 栄 (野本)	2-C 8. 3	安田 寿子 (林)	14-エ 8. 1
河原 喜代 (中村)	3-A 7. 12	田中 恵美子 (飯田)	14-オ 7. 11
柴垣 イキ子 (細野)	3-E 8. 3	石堂 恵子 (大畑)	17-ア 2. 3
片山 喜美子 (平島)	4-ア 7. 11	松崎 マサ子 (半田)	17-イ 6. 9
藤平 早苗 (山辺)	4-イ 8. 4	遠藤 美奈子 (服部)	17-エ 7. 10
楠野 美知子 (高橋)	4-ウ 8. 4	河野 美栄 (鈴木)	18-ウ 8. 1
志村 治子	4-エ 7. 9	厚見 真理子 (竹中)	22-ア 7. 11
大和 美知子 (大和)	5-ア 不詳	岩淵 洋子 (大堀)	22-イ 7. 秋
佐野 百合子	5-エ 8. 6	松下 智恵子 (鶴丸)	女23-4 7. 8
内田 静子 (山澤)	5-オ 7. 7	小泉 道子 (鈴木)	3-7 5.
岩口 百合子 (加藤)	6-イ 7. 11	大塚 亮	5-6 7. 12
川口 周子 (川口)	6-イ 8. 1	上迫 恵子 (高橋)	9-7 8. 2
中溝 恵美 (武藤)	6-オ 8. 3	竹内 征夫	10-4 8. 2
鳥越 弥生 (保田)	7-イ 8. 6	横山 みのり	11-2 不詳
柏原 すみ子 (古屋)	7-エ 8. 7	竹内 正樹	11-5 8. 1
澤田 清子 (田端)	8-イ 8. 3	加瀬 八重子 (加瀬)	12-2 7. 11
上田 治子 (藤村)	8-イ 5. 12	倉形 泰介	13-5 6. 7
滝澤 順子 (斎藤)	9-ア 8. 3	石井 豊	26-5 5. 10



前任の方々には、長い間ありがとうございました。
 尚、今号より印刷所も卒業生の萩原真裕美(20-1)さんの降屋印刷社にお世話になることになりました。
 会員の皆様のご意見、ご感想を是非お聞かせください。

委員長 村井 将子(8-5)

龍本阿彌子(13-1)
 田中 浩(32-5)

広報委員会

今回の秋号より委員が一部交替いたしましたので、よろしくお願い申し上げます。

委員長 笠原 俊也(15-4)
 松永佐智子(12-エ)
 茨木 万理(19-エ)
 平山 孔嗣(29-2)

車場会計からの繰入れ等により均衡を保っております。文字どおり会員の皆さんの会費収入がワカバ会を支えています。会費収入の増収にご協力をお願いする次第です。

平成七年度は、大きな出費を伴う名簿の発行等の事業はありませんでした。

理事・会等報告

平成7年度

11月 理事会 出席11名

・各委員会報告

・新入会員に贈呈している新会員名簿発行の存続について

1月 理事会 出席14名

・各委員会報告

・パソコンは二台購入済だが会員二万人のデータを入れるため、リースで更に二台導入する

3月 理事会 出席13名

・各委員会報告

・新監事に高17回寺西千鶴子氏
 新広報委員長に高8回村井将子氏選任

平成8年度

4月 理事会 出席13名

・各委員会報告

・7年度決算8年度予算案成立

・総会準備について

5月 評議員会 出席55名(委任状含む)

・総会議案承認

・総会当日の協力要請

・維持会員の払込方法について

5月19日(日) 第59回ワカバ会総会

出席者一三〇名(総会報告参照)

6月 理事会 出席11名

・各委員会報告

・総会の反省

9月 理事会 出席12名

・各委員会報告

維持会費納入のお願い

毎年維持会費を納入下さり、ご協力ありがとうございます。維持会費は年一回で、わかば会報(春号)に郵便局の払込取扱票を同封して毎年お願いいたしております。

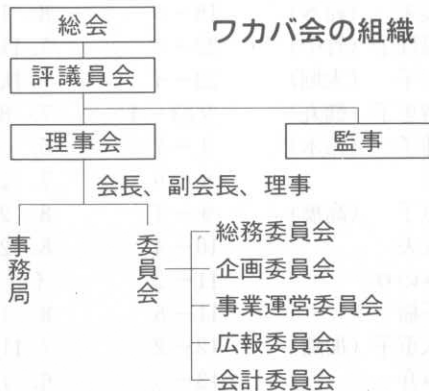
尚、(秋号)には振込票は同封しておりません。

維持会費 2,000円

ワカバ会の維持会費

維持会費は、一年ごとに任意で納入いただくことになっております。過去の分をさかのぼってお願いすることはありません。ワカバ会は主に会費収入によって運営されております。どうかご理解いただきまして、ご協力お願い申し上げます。

ワカバ会の組織



◆ 強引な名簿・広告業者にご注意下さい ◆

三田高校卒業生の職業別名簿を発行するという名目で往復ハガキや電話で個人情報をとったり、高額な広告を依頼してくる業者がおります。これらの業者は当ワカバ会とは一切関係がありません。

ワカバ会は会員のプライバシーを守ることを厳に心がけております。言葉巧みな業者には、くれぐれもご注意ください。

編集後記

目が覚めると両手をしっかり握っていて、肩が痛い。震災の三日前に夫が倒れ、社会復帰しているにもかかわらずこんな日が続く。

阪神の方々も経済的な復興は著しいものの、心の傷は癒えていないのではないかな。

藤本義一が不用意な「頑張ってね」の言葉かけに、クレームを付けていた。

最愛の人を亡くした友人に、ガンの告知を受けた友人に、あなたならどんな言葉をかけられますか。

お忙しい中、原稿をお寄せくださいました方々に感謝申し上げます。

次号の春号は「総会ご案内」が中心のものになり、会員のおたよりは主に秋号に載ります。

皆様よりの原稿をお待ちいたしております。

(M・M記)

■ 事務所だより ■

名簿管理にご協力を

第39号で同封の不明者名簿をご覧の皆様から、多くの情報が寄せられ、住所の不明だった方に会報を送ることができました。ありがとうございました。移転その他で住所、電話番号、住居表示が変わった時は、必ずワカバ会事務所へご一報下さるようお願いいたします。連絡は電話、FAX、郵便いずれでも結構です。

クラス会、同期会に利用するクラス名簿はプリントアウト(有料)ができます。ご利用ください。

ワカバ山荘について

今年も山荘を7月12日から9月15日まで開荘いたしました。ご利用ありがとうございました。軽井沢山荘の利用者が毎年減少の傾向にあります。ぜひ今年から計画を立ててご利用下さいますようお願いいたします。